



# わたしたちと祈り

—教皇フランシスコの連続講話から学ぶ—

講師 パウラ・レイス・ゴメス

上智大学非常勤講師

祈りは宗教を信じている、いないに関係なく、すべての人のものです。祈ることは、誰かを励ましたり、また、わたしたちの生きる力になるかもしれません。

教皇フランシスコの祈りに関する洞察から学び、それぞれの歩む道をすこしずつ確かなものとしていきましょう。

(講座の詳細、講師プロフィール等は裏面をご覧ください。)

4/10 5/8 5/22

6/12 6/26

木曜 14:00～15:30



お申込  
お問合せ

受講料

公益財団法人真生会館  
〒160-0016 東京都新宿区信濃町33-4  
Tel (03) - 3351 - 7121  
Fax (03) - 3358 - 9700  
E-mail class@catholic-shinseikaikan.or.jp  
公式サイト  
<https://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

会場 1回1,200円  
ZOOM 1回1,200円 (決済手数料等含む)  
学生は無料 (学生証をご提示ください)  
この講座のZOOM配信はリアルタイムのみとなり  
見逃し配信はありません。

会場受講申込書 2025年4～7月

わたしたちと祈り -教皇フランシスコの連続講話から学ぶ-

ご希望の日にちを○で囲んでください。全日程 4/10 5/8 5/22 6/12 6/26

ふりがな

お名前

電話番号

E-mail

## 講師はどんな方？



パウラ・レイス・ゴメスさん

ポルトガルのリスボン生まれ。セルヴィ・エヴァンジェリー(宣教会)会員。上智大学、外務省ではポルトガル語を指導。1991年来日。2012年から真生会館のwakageおよび、カトリック東京教区青少年委員会のスタッフ。若者のための巡礼、勉強会などを開催し、将来の進む道に悩む若者達と共に、神様が用意してくれた道を祈りながら探す活動をしている。

## 講師からのメッセージ

教皇フランシスコは2025年聖年の開催を告げました。

カトリック教会にとって25年ごとにお祝いする聖年は、豊かな恵みを受ける特別なきっかけになります。ローマの聖ピエトロ大聖堂をはじめ、世界中の大聖堂の聖なる扉が開かれ、多くの人が神さまのいつくしみの体験を求めましょう。

教皇フランシスコが「この恵みあふれる年に備えられるように、また神の希望の力を経験できるようにさらに祈りを深めましょう」と呼びかけたように、2024年は祈りを深める年となりました。

そして、とうとう2024年12月25日に聖年が開会しました。

テーマは「希望の巡礼者」です。

これからも、この講座で聖年の恵みを味わいながら祈り方について深め続けたいと思います。

そのため、教皇フランシスコが2020年5月6日～2021年6月16日一般謁見演説で行った「祈りに関する連続講話」をもとにして、祈りについて深め、祈りを実践します。色々な課題を抱えている現世界で目に見えない祈りの大きな力を信じながら「希望の巡礼者」として光を求めたいと思います。

この講座は、講師の話を聴くだけでなく、参加者の感想を聴き、分かち合います。

フランシスコ教皇の行った祈りに関する連続講話の内容は  
ペトロ文庫 キリスト者の祈り\_\_教皇講話集(定価900円＋税)  
におさめられています。また、カトリック中央協議会の公式サイトにも講話の内容が掲載されています。

参加者には、事前に各回で読む箇所をお知らせします。初めての方、一回だけのご参加も歓迎いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。